

卒業生及び採用企業に対するアンケート調査結果

— ディプロマ・ポリシーに掲げる能力の修得状況等 —
法政大学 理工学部 (2026年度)

1. 調査の目的

本調査は、理工学部が定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる能力について、卒業後の進路・就職状況等の観点から教育の成果と効果を検証し、教育活動の点検・改善に活用することを目的として実施したものです。

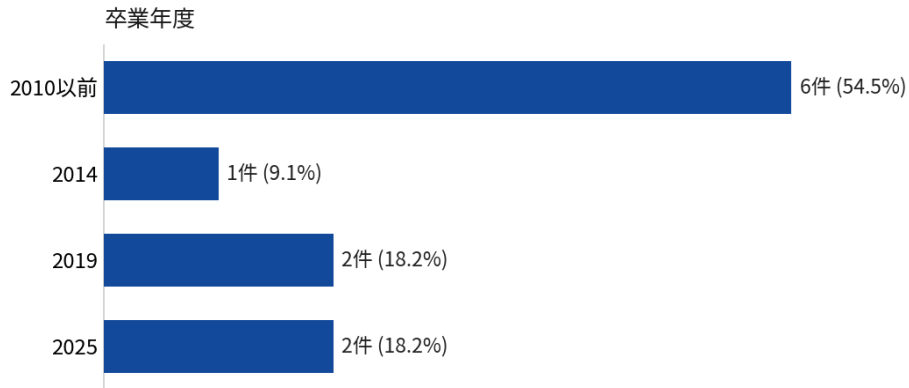
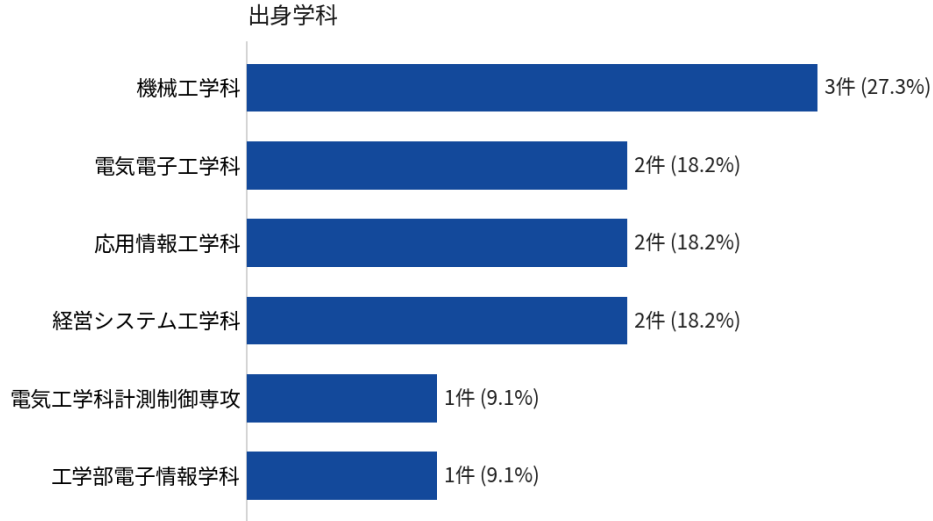
2. 調査の概要

調査目的	理工学部のディプロマ・ポリシー（DP）に掲げる能力の修得状況等を把握し、教育の成果・効果を検証して教育活動の点検・改善に活用するため。
調査対象	ア（卒業生）：本学理工学部（前身の工学部を含む）の卒業生 イ（進路先）：キャリア相談会に参加した企業・団体（卒業生の主な就職先・採用企業）
調査方法	キャリア相談会（2026年6月開催）の参加申込フォームにアンケート設問を組み込み、Webにより回収。
実施時期	2026年4月～5月（回答受付）
回答状況	ア：11件（出身学科の記入があった理工学部系卒業生。設問により回答数は異なる） / イ：67件（参加企業・団体）

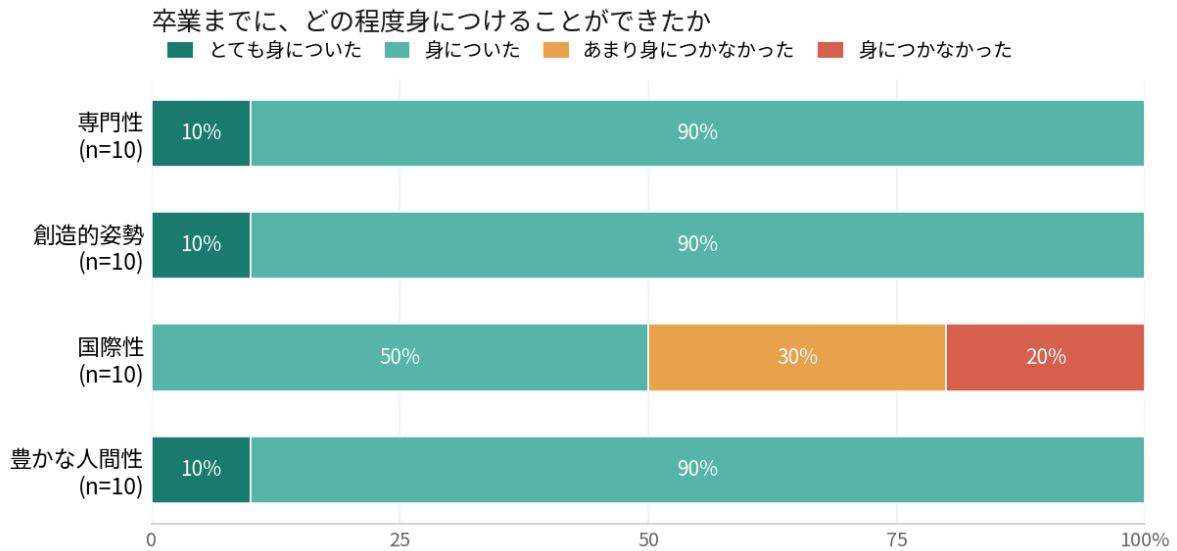
3. 卒業生アンケート結果（理工学部出身者）

過年度の卒業生を対象とした調査結果です（回答11件、設問により回答数は異なります）。

■ (1) 回答者の属性

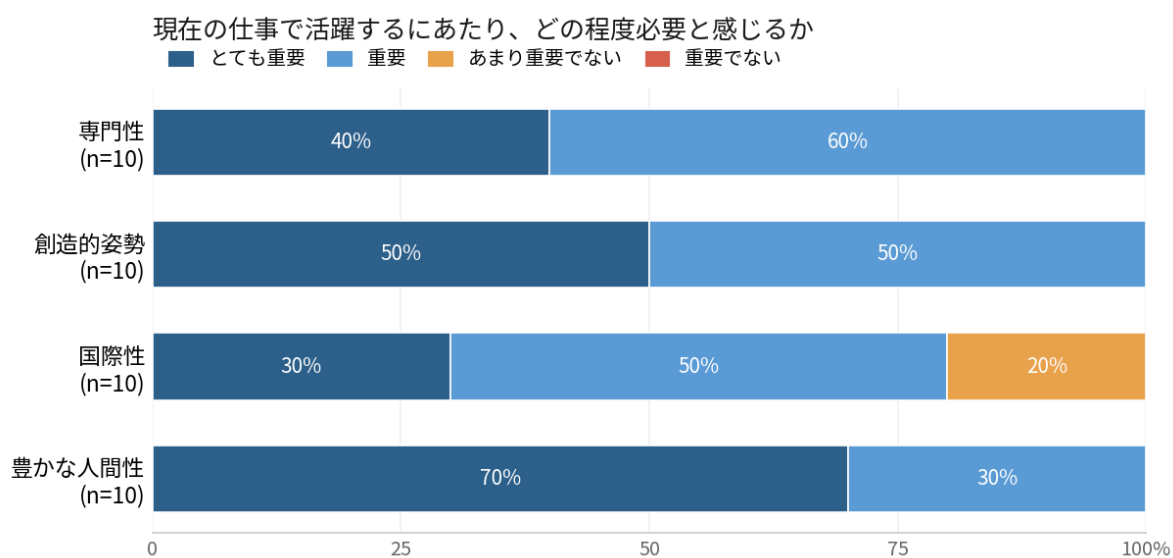


■ (2) DP に掲げる能力の修得状況（卒業までに身についたか）



能力	とても身についた	身についた	あまり身につかなかった	身につかなかった	計
専門性	1	9	0	0	10
創造的姿勢	1	9	0	0	10
国際性	0	5	3	2	10
豊かな人間性	1	9	0	0	10

■ (3) 現在の業務における必要度（仕事で活躍するために必要か）



能力	とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない	計
専門性	4	6	0	0	10
創造的姿勢	5	5	0	0	10
国際性	3	5	2	0	10
豊かな人間性	7	3	0	0	10

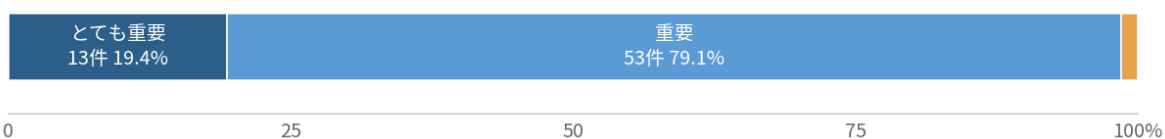
〔小括〕「専門性」「創造的姿勢」「豊かな人間性」は概ね修得できたとの回答が大半（9割）を占める一方、「国際性」は修得できなかったとする回答が半数（あまり+身につかなかった=5割）にのぼり、課題として認められます。業務上の必要度でも全能力で「重要」以上が多数を占めています。

4. 採用企業アンケート結果（卒業生の進路先）

卒業生の就職先・採用企業（キャリア相談会参加の企業・団体）を対象とした結果です（回答67件）。

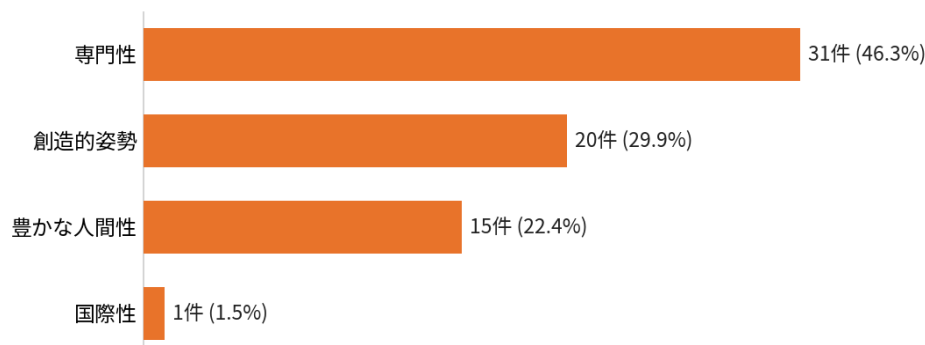
■ (1) 採用時に、DP に掲げる能力をどの程度重視するか

採用時にDPの能力をどの程度重視するか（n=67）



■ (2) 採用に関して最も重視する能力

採用で最も重視する能力（n=67）



【小括】採用にあたり DP の能力を「重要」以上と評価する企業が 98.5%を占めます。最も重視する能力は「**専門性**」（46.3%）、次いで「創造的姿勢」（29.9%）であり、専門性を基盤とした実践力が強く期待されていることがうかがえます。

5. 調査結果の活用について

本調査の結果は、理工学部教授会において共有し、教育課程・教育方法の点検及び見直しに係る検討に活用します。

以上